

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(技術分野-4～技術分野-8)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『エネルギー変換の技術の光と影』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決で実践したことへの評価・改善を行う学習活動が【学習課題 問題解決を評価し、改善・修正しよう。】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【これからの材料と加工の技術について考えよう】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産の保護』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報の技術の発展による社会の変化の例が『生活や社会の中の情報の技術の例』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちの研究・開発を取り上げた内容が『すごいぞ！技術』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題発見例を示し、問題を見いだして課題を設定する学習活動が【学習課題 エネルギー変換の技術に関わる問題を見いだし、課題を設定しよう。】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科などの教科や単元との関連を示す『他教科』のマークが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、設計・計画の学習過程において機能や構造を構想図等に表す学習活動が【構想の具体化】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『林業の仕組み』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や動力伝達の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 木材を切ったり削ったりしよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、学習内容との関連する箇所小学校の教科、学年、単元名などを示したリンクマークが『小学校 理科6年 電気の利用』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性や注意すべき点に関する内容が『情報モラル』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、文字入力やソフトウェアの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【TECH Lab】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『地域の特産物を未来につなげよう』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、生活や社会における事象を、立場の違いや異なる側面から捉え、最適化を考える学習活動が【学習課題 生物育成の技術に関わる問題を見いだし、課題を設定しよう。】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し解決する学習過程について、問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『問題解決のプロセス』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 各編の1章は原理・法則としくみ、2章は問題解決、3章は社会の発展と技術に関する内容で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(技術分野-4～技術分野-8)を参照。

発行者の略称	教図	書名	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
1 教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『学ぶ 技術のプラス面とマイナス面』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決で取り組んだことを振り返る学習活動が【やってみよう 2章で取り組んだ活動をふり返って、レポートにまとめてみよう。】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【あなたは、これから材料と加工の技術とどのように向き合っていきたいですか。】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産』のマークに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報の技術の発展による社会の変化の例として生活の中で使われている情報の技術が『身近にある情報の技術の利用例』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちのものづくりへの想いを取り上げた内容が『日本の技術を支える人々の想い』に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題と解決する方法を示し、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【ステップ1 完成形をイメージしよう】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科などの教科や単元との関連を示す『関連』のマークが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、設計・計画の学習過程においてアイデアから機能や材料を構想図等に表す学習活動が【つくりたいものを具体化する】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『法隆寺の建築技術』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して機械や情報の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 自転車の保守点検をしてみよう。】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容との関連を示した関連マークが『小学校 理科・社会・生活』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性を事例を示して取り上げた内容が『情報モラルと情報の扱いかた』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、マウスやタブレットの操作法やファイルの管理などの基礎技能が『基本操作』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【基礎技能動画(切断)】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『題材例1 袋栽培で収穫する』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、複数の解決策を考える学習活動が【情報の技術のプラス面をいかし、マイナス面を克服するための技術の上手な活用法や、新しく開発したい技術を考えよう。】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習過程について、完成形をイメージし、製作品を活用するまでの問題解決の流れが『問題を解決する流れを考えよう』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁 表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 各編の1章は知識・技能の習得に関すること、2章は問題解決に関すること、3章は社会の技術を評価することに関する内容で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 技能を掲載した別冊『スキルアシスト』とともに、A4変形判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『ユニバーサルデザインの考え方をとづいて編集されています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(技術分野-4～技術分野-8)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『スマートシティの可能性と課題』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決の結果や解決の過程を評価し改善したことを表現する学習活動が【問題解決のふり返りシート】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【やってみよう これからの情報の技術とその活用を考えてみよう】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産の考え方と活用』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の技術の発展による社会の変化について製品の進歩を取り上げた内容が『製品の進歩～買い物に関する計算の歴史～』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちをインタビュー形式で取り上げた内容が『interview』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、日常生活における問題の例を示しながら、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【問題の発見と課題の設定】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科などの教科や単元との関連を示す『他教科』のマークが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、設計・計画の学習過程においてアイデアの詳細を検討し、構想図等に表す学習活動が【詳細な設計の検討】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『姫路城』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や電気回路の仕組みを考える学習活動が【実験 木材を水に入れてみよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容との関連について示した小学校マークが『小学校 5年社会「水産業のさかんな地域」』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性や情報を発信するときに注意する視点を取り上げた内容が『情報モラル』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、キーボードの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【両手引き(正面)】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『リーフレタスの溶液栽培』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、生活や社会における事象として製品の例を取り上げて、異なる側面から捉え、最適化を考える学習活動が【生物育成の技術の見方・考え方で既存の育成方法を読み解こう】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習過程について、製作物を例に問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『問題解決の手順』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 各編の1は生活と社会の技術、2は問題解決、3はこれからの技術に関する内容で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『材料と加工の技術の光と影』や『エネルギー変換の技術の光と影』に掲載されている。
教図	「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『学ぶ 技術のプラス面とマイナス面』や『プラス面の例、マイナス面の例』に掲載されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『スマートシティの可能性と課題』や『仮想空間（メタバース）技術の可能性と課題』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決で実践したことへの評価・改善を行う学習活動が【学習課題 問題解決を評価し、改善・修正しよう。】に設定されている。また、評価・改善の視点が『評価の観点の例』に掲載されている。
教図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決で取り組んだことを振り返る学習活動が【やってみよう 2章で取り組んだ活動を振り返って、レポートにまとめてみよう。】に設定されている。また、評価・改善を行うチェックリストが『振り返る』に掲載されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決の結果や解決の過程を評価し改善したことを表現する学習活動が【問題解決のふり返しシート】に設定されている。また、評価・改善の視点が『問題解決のふり返し』に掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【これからの材料と加工の技術について考えよう】や【これからのエネルギー変換の技術について考えよう】に設定されている。
教図	「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【あなたは、これから材料と加工の技術とどのように向き合っていきたいですか。】や【あなたは、これからエネルギー変換の技術とどのように向き合っていきたいですか。】に設定されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【やってみよう これからの材料と加工の技術とその活用を考えてみよう】や【やってみよう これからの情報の技術とその活用を考えてみよう】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産の保護』や『知的財産の活用・創造』に掲載されている。
教図	[思いやる力]の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産』のマークや『知的財産や個人を守る権利や法律』に掲載されている。
開隆堂	[思いやる力]の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産の考え方と活用』や『知的財産権の種類』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の技術の発展による例を示した内容が『生活や社会の中の情報の技術の例』や『技術の歴史』などに掲載されている。
教図	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の技術の発展による例が『身近にある情報の技術の利用例』や『スゴ技 宇宙から水産業・農業を支える技術』などに掲載されている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の技術の発展による製品の進歩を取り上げた内容が『製品の進歩～買い物に関する計算の歴史～』や『新しいサービスとコミュニケーション』などに掲載されている。

⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちの研究・開発を取り上げた内容が『すごいぞ！技術』や『思いを形にするプロダクトデザイン』に掲載されている。
教図	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちのものづくりへの想いを取り上げた内容が『日本の技術を支える人々の想い』や『技ビト』に掲載されている。
開隆堂	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちをインタビュー形式で取り上げた内容が『<開発の現場から>』や『interview』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、問題発見例を示し、問題を見いだして課題を設定する学習活動が【学習課題 エネルギー変換の技術に関わる問題を見いだし、課題を設定しよう。】や【学習課題 双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見いだし、課題を設定しよう。】に設定されている。
教図	主体的・対話的で深い学びについて、問題と解決する方法を示し、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【ステップ1 完成形をイメージしよう】や【ステップ1 育てかたをイメージしよう】に設定されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、日常生活における問題の例を示しながら、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【問題の発見と課題の設定】や実習例の【①問題の発見】【②課題の設定】に設定されている。

- 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、理科や家庭科などの教科や単元との関連を示す『他教科』のマークが掲載されている。
教図	カリキュラム・マネジメントについて、理科や数学科などの教科や単元との関連を示す『関連』のマークが掲載されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、理科や小学校の教科などの教科や単元との関連を示す『他教科』のマークが掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、設計・計画の学習過程において機能や構造を構想図等に表す学習活動が【構想の具体化】に設定されている。また、アイデアを構想図等に表す例が『双方向性のあるコンテンツの制作計画の例』に掲載されている。
教図	言語能力の育成について、設計・計画の学習過程においてアイデアから機能や材料を構想図等に表す学習活動が【つくりたいものを具体化する】に設定されている。また、アイデアを構想図等に表す例が『アクティビティ図のかきかた』に掲載されている。
開隆堂	言語能力の育成について、設計・計画の学習過程においてアイデアの詳細を検討し構想図等に表す学習活動が【詳細な設計の検討】に設定されている。また、アイデアを構想図等に表す例が『制作工程表の例』に掲載されている。

- 伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『林業の仕組み』や『新しい材料と加工の技術の開発』に掲載されている。
教図	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『法隆寺の建築技術』や『もっと知ろう 地域の伝統野菜』に掲載されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『姫路城』や『木材が曲がる性質を利用した製品』などに掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や動力伝達の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 木材を切ったり削ったりしよう】や【やってみよう 回転力を比べよう】などに設定されている。
教図	体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して機械や情報の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 自転車の保守点検をしてみよう。】や【やってみよう 4ビットと8ビットでは、何通りの表現ができるだろうか。】などに設定されている。
開隆堂	体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や電気回路の仕組みを考える学習活動が【実験 木材を水に入れてみよう】や【やってみよう どちらが明るいだろう?】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、学習内容との関連する箇所小学校の教科、学年、単元名などを示したリンクマークが『小学校 理科6年 電気の利用』に、巻頭のガイダンスに小学校の学習内容を振り返る視点が『小学校で学習したこと』に掲載されている。
教図	学校段階間の円滑な接続について、小学校の教科名など学習内容との関連を示した関連マークが『小学校 理科・社会・生活』に、巻頭のガイダンスに小学校の学習内容を振り返る視点が『小学校ではどんなことを学んできたかな?』に掲載されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容との関連について学年、教科、単元名などを示した小学校マークが『小学校 5年社会「水産業のさかんな地域」』に、巻頭のガイダンスに小学校の学習内容を振り返る視点が『技術の学習を始める前に』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性や注意する点に関する内容が『情報モラル』や『情報セキュリティの仕組み』に掲載されている。
教図	情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性を事例を示して取り上げた内容が『情報モラルと情報の扱いかた』や『情報セキュリティの技術とは』に掲載されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性や情報を発信するときに注意する視点を取り上げた内容が『情報モラル』や『情報セキュリティ』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、文字入力やソフトウェアの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に、プログラミングの基本操作が『プログラミング手帳』に掲載されている。
教図	生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、マウスやタブレットの操作方法やファイルの管理などの基礎技能が『基本操作』に、プログラム例が『スモウルビーのプログラム例』などに掲載されている。
開隆堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、キーボードの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に、プログラミング言語の種類が『プログラミング』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【TECH Lab】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、【基礎技能動画（切断）】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
開隆堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【両手引き（正面）】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『地域の特産物を未来につなげよう』や『計測・制御システムで地域の安全・安心を守ろう』に掲載されている。
教図	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『題材例1 袋栽培で収穫する』や『プチ問題解決にチャレンジ!サイコロの目の数を当てるプログラムをつくってみよう』に掲載されている。
開隆堂	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『リーフレタスの養液栽培』や『無人レジシステム』に掲載されている。

⑪「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	
東書	「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、生活や社会における事象を、立場の違いや異なる側面から捉え、最適化を考える学習活動が【学習課題 生物育成の技術に関わる問題を見だし、課題を設定しよう。】に設定されている。また技術の見方・考え方の視点が『技術の見方・考え方』に掲載されている。
教図	「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、複数の解決策を考える学習活動が【情報の技術のプラス面をいかし、マイナス面を克服するための技術の上手な活用法や、新しく開発したい技術を考えよう。】に設定されている。また技術の見方・考え方の視点が『技術の問題解決ってなに？』に掲載されている。
開隆堂	「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、生活や社会における事象として製品の例を取り上げて、異なる側面から捉え、最適化を考える学習活動が【生物育成の技術の見方・考え方で既存の育成方法を読み解こう】に設定されている。また技術の見方・考え方の視点が『技術の見方・考え方』に掲載されている。
⑫ 既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
東書	生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し解決する学習過程について、問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『問題解決のプロセス』に、解決するための手順が『問題解決例』に掲載されている。
教図	生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し解決する学習過程について、完成形をイメージし、製作品を活用するまでの問題解決の流れが『問題を解決する流れを考えよう』に、ワークシートの記入例が『電気回路を使った製作品の記入例』に掲載されている。
開隆堂	生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し解決する学習過程について、製作物を例に問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『問題解決の手順』や『エネルギー変換の技術による問題解決の流れの例』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	見開き 2 ページを基本として学習内容が設定され、各編の 1 章は原理・法則としくみ、2 章は問題解決、3 章は社会の発展と技術に関する内容で構成されている。
教図	見開き 2 ページを基本として学習内容が設定され、各編の 1 章は知識・技能の習得に関すること、2 章は問題解決に関すること、3 章は社会の技術を評価することに関する内容で構成されている。
開隆堂	見開き 2 ページを基本として学習内容が設定され、各編の 1 は生活と社会の技術、2 は問題解決、3 はこれからの技術に関する内容で構成されている。
⑭ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型は A B 判が採用されている。
教図	技能を掲載した別冊『スキリアシスト』とともに、A 4 変形判が採用されている。
開隆堂	判型は A B 判が採用されている。
⑮ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教図	『ユニバーサルデザインの考え方をもとづいて編集されています。』と表記されている。
開隆堂	『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	154ページ 『蒸気機関車』 (横浜市) 192ページ 『学校に設置された蓄電池』 (横浜市) 192ページ 『自転車や電気自動車の共同利用』 (横浜市) 267ページ 『技術の匠』 (相模原市)
教図	17ページ 『箱根寄木細工』 (箱根町) 105ページ 『アロビを育てる技術』 (神奈川県立海洋科学高等学校) 107ページ 『本当においしい豚肉を食卓へ』 (厚木市) 120ページ 『太陽光パネル』 (川崎市) 251ページ 『先輩からのメッセージ』 (神奈川県立海洋科学高等学校、川崎市立川崎総合科学高等学校) 253ページ 『品種の研究開発を通じて世界に栄養と笑顔を届ける』 (横浜市) 巻末④ページ 『博物館に行ってみよう!』 (神奈川県立歴史博物館、東芝未来科学館)
開隆堂	101ページ 『11階建ての木造建築ビル』 (横浜市) 135ページ 『バンジー』 (神奈川)

② 一冊ごとの重量 (g)

	冊数	本冊	別冊
東書	1	566	
教図	2	570	94
開隆堂	1	558	